

新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始します

～近隣企業等の職域接種への医師・看護師等の派遣も開始～

横浜市立大学では、対象となる学生と教職員約4,200人の内、希望者への新型コロナウイルスワクチンの職域接種を、8月12日（木）から金沢八景キャンパスで開始します。

また、本学学生・教職員の安全を守るための取組だけではなく、ワクチンの職域接種に関する地域企業や大学の負担軽減及び接種の加速化を図るため、ワクチン接種を行う医療従事者の確保が困難な近隣企業・大学等の職域接種に対して、医師・看護師等の派遣や本学職域接種での受け入れなどを行い、医学部・附属病院を有する横浜市内唯一の大学としての使命を果たします。

【職域接種の概要（予定）】

接種開始日：2021年8月12日（木）

接種期間：<接種1回目> 8月12日（木）～8月15日（日）
8月19日（木）～8月22日（日）

<接種2回目> 9月9日（木）～9月12日（日）
9月16日（木）～9月19日（日）

計16日間

接種会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス内
〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2

接種対象者：学生、教職員(学内で働く委託業者等含む)

【近隣企業等の職域接種への協力について（予定）】

医療従事者の派遣：日本発条株式会社（7月9日より開始済み）

一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会（8月24日より開始予定）

本学職域接種で受入：関東学院大学（8月12日より開始予定）

※医療系学部の一部学生を対象に、本学会場にて接種予定
金沢区役所（調整中）

※派遣先企業等はリリース日時点で確定している先になります。

（上記以外の近隣大学・企業等の職域接種へも協力予定）